

積善

題字 第241世天台座主 玄深師(惠亮院藏)

餘慶寺だより

編集・発行 上寺山餘慶寺

〒701-4232 岡山県瀬戸内市邑久町北島 1187
納経所 TEL 086-942-0186 FAX 086-942-0187
惠亮院 TEL/FAX 086-942-3788
本乗院 TEL 086-942-2791 FAX 086-239-5823
吉祥院 TEL/FAX 086-942-3789
定光院 TEL 086-942-2356 FAX 086-944-1490
明王院 TEL 086-943-1030 FAX 086-943-1069
圓乘院 TEL 086-942-2356
ホームページアドレス <http://www.yokeiji.com/>

ひとくち法話

共生（共に生きる）

境内にある桜や参道沿いの山吹も花の時期を過ぎ、山の緑の美しい時期となりました。一方適度な日差しと雨で、各所に草が伸びてきています。これから秋の終わりまで草刈りや除草に追われる毎日です。
先日伸び放題のカラスノエンドウに除草剤を撒きながら、「世の中に雑草という名の草はない」という言葉を思い出しました。人間にとって、生えてほしくない場所に生えている草は「雑草」です。

また最近では外来種の植物や動物による害がよく話題になっていますが、ペットが野生化したり、海外から持ち込まれたりして、その原因の多くは人間によるものです。それを困ったからといって今度は駆除しなければならぬことになり、人間の身勝手さに心が痛みます。

「雑草」も「外来種」も、人間の勝手な区別であって、植物や動物そのものには良いも悪いもありません。自分も含めすべては自然の一部なのですが、共に生きることの難しさを感じてしまいます。

六月四日の伝教大師のご命日にちなみ毎月四日は「一隅を照らす日」と定められています。実践するための三つの柱は「生命」「共生」「奉仕」で、あらゆる命を大切にし、自然の恵みに感謝し、みんなのために行動しようというものです。毎日は難しいかもしれませんが、月に一日自分は何ができるか少しでも考えて実践したいものです。

日常の仏教用語集

「お盆」

語源は、サンスクリット語の「ウランバーナ」（倒さに吊るされたような苦しみ）に由来し、漢訳された「盂蘭盆」を省略したもの。
お盆はご先祖様に報恩感謝することはもちろん、餓鬼道で苦しんでいる全てのものに供養をし、その心を形にする大切な期間です。

「行脚」

僧侶が修行のために、善き師を求めて諸国、諸地方を回って歩くこと。



餘慶寺からのお知らせ

薬師縁日（於 薬師堂）
毎月8日 午前10時～（8月はありません。）
護摩供養をしています。
ご祈祷のお申し込みは随時納経所へお願いします。
観音縁日（於 本堂）
毎月18日 午前8時～
みんなで観音経をあげます。お経本は本堂にありますので、お気軽にお参りください。



福鈴まつり、今年も開催します。詳しくは別紙ご案内をご覧ください。

天井絵残りわずかです。ご寄進の申し込みは納経所まで。

餘慶寺水まつり

今年も八月最終土曜日（八月二十六日）の十八時より、恒例の水まつりを開催いたします。

まず「施餓鬼会」法要では、三界万霊、すべての命を供養し、その功德がご先祖様やご家族、自らにも分け与えられます。餘慶寺の各院僧侶がおつとめをし、ご参拝の皆様も、水棚に進んで経木塔婆の供養をしていただきます。

引き続き「万灯会」がとり行われます。境内は、供養の灯りで幻想的に照らし出され、癒しの音楽が心を和ませます。

一昨年より開催しております寺庭婦人による縁日広場も好評です。お菓子すくいなどお子さまにも楽しんでもらえますのでご家族ご一緒にお楽しみください。

夏の終わりは、ご家族お揃いで上寺山餘慶寺へ、お参りください。



境内にお経を唱える各院僧侶



奉納演奏を聞く参拝者



水棚にて



縁日広場

写経会にご参加ください

境内のハスが見頃を迎える頃、七月一日（土）～三日（月）の早朝五時より、餘慶寺「写経会」が行われます。

初日と二日目は餘慶寺御本尊「千手観世音菩薩」にちなんだ観音経の一部（偈文）を、三日目はよく親しまれている般若心経を写します。静寂な雰囲気の中、一心に写経すると心が洗われるようです。

その後、僧侶先導のもと、鐘の音に心を落ち着かせながら餘慶寺会館へ静かに移動して、三日間ともに朝粥をいただきます。全ての行事は午前六時半頃に終了予定です。

すがすがしい朝のひとときの中、一文字一文字に心をこめてつづる写経会に参加されてはいかがでしょう。

なお、参加には準備の都合上、事前の申込みが必要ですので、別紙申込書に志納金を添えて各院または納経所へお申込みください。

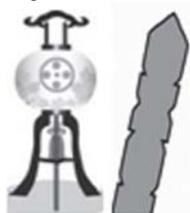


水祭りにおきまして、

古い塔婆・・・お焚き上げをいたします。

古い盆提灯・・・お祀りいたします。

八月になりましたら、本堂へお持ちください。



桜まつりのご報告

四月一日～八日の期間、餘慶寺では毎年恒例の桜まつりが開催されました。今年は桜の開花が例年に比べて遅かったこともあり期間を通して桜を楽しんでいただくことができたとおもいます。

期間中は本堂外陣にお祀りした花御堂へのお参りや薬師堂内の特別拝観、寺庭婦人による「さくらカフェ」や甘茶の無料接待（八日のみ）などが行われました。県内はもとより県外からお参りに来られた方もおられ、それぞれの心に残る時間となっていればありがたいです。特に、薬師堂御本尊「薬師如来」を奉拝された方は皆さんとても穏やかな顔をされていたのが印象的でした。それぞれに薬師如来様から御利益をいただかれたことと確信しております。



薬師堂内で説明を聞く参拝者



釈迦誕生仏に甘茶を灌ぐ



甘茶の無料接待



さくらカフェの様子

第一回『寺遊びinよけいじ』について

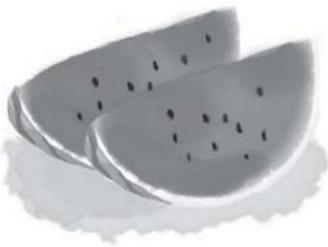
餘慶寺では今年の七月二十七日（木）、小学生を対象とした寺子屋を開催することになりました。題して、

『寺遊びinよけいじ』

お寺での体験や遊びを通して子どもたちにもっとお寺を身近に感じてもらいたいという思いから企画いたしました。当日は餘慶寺のスタッフが心をこめてお世話させていただきます、子どもたちと一緒に思い出作りができればと考えております。

日程等、詳細は別紙募集要項をお読みください。募集人数には限りがありますので、参加希望の方は必要事項をご記入いただき、お早めに餘慶寺へお送りください。

今年の夏休みは、いつもとは違う思い出作りをぜひ上寺でかなえましょう。



夏休み、上寺に
遊びに来てね!

毎月十八日は観音縁日。午前八時より観音経を讀誦します。

毎月第二日曜日午後二時より阿弥陀堂にて納骨堂説明会を行っています。

餘慶寺境内紹介

『十三仏堂』

人が亡くなると初七日に始まり七七日、百か日、一周忌と供養をする日が決まっています。それぞれの忌日に故人を導いて下さる仏さまは決まっています。初七日から十三回忌までと三十三回忌の担当の仏さまを「十三仏」といいます。

餘慶寺三重塔の西側、回廊のところに十三仏堂があります。これは平成二十四年のご開帳の折に新しく建てられた回廊の一階部分にあるお堂で、中には「十三仏」がお祀りされています。回廊にある入り口から階段を降りると、十三体の仏さまが並んでいて、台座に写経が納められるようになっていきます。

亡くなられた大切なご家族のご冥福を祈るため、またご供養のためにもご家族やご親族で写経を納められることをおすすめいたします。

写経はどんな種類でもかまいませんが、十三仏写経専用の用紙を納経所にご用意していますので、ご希望の方はお問い合わせください。



よけいじ寺子屋だより

会場 餘慶寺会館（十四時〜）

寺子屋写真館



今後の予定

☆『供物のほなし』

講師 吉祥院住職

六月十日(土) 大石恵海師

☆『ふるさと納税について』

講師 税理士及び会社役員 港 定明先生

六月二十四日(土)

☆『真言について』

講師 本乗院住職

七月九日(日) 小林周伸師

☆『寺遊びinよけいじ』

講師

七月二十七日(木) 山内僧侶

※どなたでも聴講可能です。

お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

七月二十七日は小学生対象になります。

八月はお盆期間中のため、寺子屋はお休みします。

編集後記

ちようど、この編集後記を書いているときにスイレンの花が咲き始めているのに気がつきました。この五十八号が発行されるときには六月を迎えハスの花も膨らみ始めていることでしょう。写経会がある七月初旬には見頃を迎えることでしょう。ハスの花は午後には閉じてしまします。どうぞ涼しい朝の時間帯に見に来てくださいね。